

2023年度 日本工学院専門学校											
I Tスペシャリスト科											
外国語 1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大森千枝			実務経験	有	職種	英会話講師				
担当教員紹介											
米国現地法人、日系・外資系企業での実務経験（提案型営業・広報）と、日本人に必要な英語（小中学生の学校英語、高校・大学受験英語、民間英語試験対策、ビジネス英語、日常英会話）の指導経験(10年)を持つ。											
授業概要											
外国語1、および2年次後期に開講する外国語2では、英語の要「英文法」の基礎知識をしっかりと身につける。コミュニケーションに最低限必要な基本文法をベースに「使える」英語の習得を目指す。これにより、外国語3～5を履修するため基礎を築く。											
到達目標											
将来、仕事をしていく上で、英語を習得しておくことの意義と優位性をしっかり理解し、意欲的に授業に取り組めるようになる。各授業で学習する「英文法」を理解し、読解とスピーキングができるようになる。 外国語1～5での学習内容を把握する。											
授業方法											
外国語1、および2年次後期に開講する外国語2の学習範囲は、中学校・高校で学習してきた英語の範囲（主に中学校）の「英文法」とし、簡単なセンテンスレベルでの基本的な演習・音読をすることによって無理のない英文法の定着を図る。自ら文法ルールを発見できるよう短くわかりやすい文章なども配し、多角的に学んでいく。また、積極的にとりくんでもらうために、音読も行う。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表	0%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
本科目では将来的に英語を習得することの重要性を理解し、主体的に英語の学習に取り組む姿勢をつくることを重視する。講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。講義に出席するだけでなく、理解の浅い単元については自宅での復習をしっかりと行うこと。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス 英文法 外国語として英語を学習する目的と意義、そして学習内容を理解し、把握できる										
第2回	主語・動詞・文型 主語・動詞・文型の使い方を理解し、主語・動詞・文型を用いた英文を読解できる										
第3回	現在時制・過去時制 現在時制・過去時制の使い方を理解し、現在時制・過去時制を用いた英文を読解できる										
第4回	助動詞 助動詞の使い方を理解し、助動詞を用いた英文を読解できる										
第5回	未来時制と進行形 未来時制と進行形の使い方を理解し、未来時制と進行形を用いた英文を読解できる										

2023年度 日本工学院専門学校	
I T スペシャリスト科	
外国語 1	
第6回	完了形 完了形の使い方を理解し、完了形を用いた英文を読解できる
第7回	受動態 受動態の使い方を理解し、受動態を用いた英文を読解できる
第8回	分詞 分詞の使い方を理解し、分詞を用いた英文を読解できる
第9回	動名詞 動名詞の使い方を理解し、動名詞を用いた英文を読解できる
第10回	不定詞 不定詞の使い方を理解し、不定詞を用いた英文を読解できる
第11回	接続詞 接続詞の使い方を理解し、接続詞を用いた英文を読解できる
第12回	分詞構文 分詞構文の使い方を理解し、分詞構文を用いた英文を読解できる
第13回	比較 比較の使い方を理解し、比較を用いた英文を読解できる
第14回	総復習(1) 外国語1の学習範囲を復習し、理解の浅い箇所の洗い出しが完了する
第15回	総復習(2) 14回の結果をもとに再学習を行い、理解度を高めることができる